



美里町立中央小学校だより

中央の風

一人ひとりに光を 一人ひとりが光を

ホームページで毎日更新しています！

ブログ「校長のつぶやき」

TEL 0964-46-2004

中央小学校ホームページ

<https://es.higo.ed.jp/chuou/>



中央小HP

令和8年1月13日(火)【第14号】

新年 明けましておめでとうございます

保護者や地域の皆様におかれましては健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本校教育活動へのご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

学校にも元気な子どもたちの姿が戻り、いよいよ令和7年度のまとめとなる3学期がスタートいたします。「一年の計は元旦にあり」「終わり良ければすべて良し」の言葉もあるように、今年目標を立てて取り組もうとしている子が多いと思います。その目標が達成できるよう、全職員で見守り、支えていく所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

成人の日に

谷川俊太郎

人間とは常に人間になりつつある存在だ
かつて教えられたその言葉が
しこりのように胸に残っている
成人とは人に成ること もしそうなら
私たちはみな日々成人の日を生きている
完全な人間はどこにもいない
人間は何かを知りつくしている者もない
だからみな問いかけるのだ
人間とはいったい何かを
そしてみな答えているのだ その問いに
毎日のささやかな行動で
人は人を傷つける 人は人を慰める
人は人を怖れ 人は人を求める
子どもとおとなの区別がどこにあるのか
子どもは生まれでたそのときから小さなおとな
おとなは一生大きな子ども
どんな美しい記念の晴着も
どんな華やかなお祝いの花束も
それだけではきみをおとなにはしてくれない
他人のうちに自分と同じ美しさをみとめ
自分のうちに他人と同じ醜さをみとめ
でき上がったどんな権威にもしばられず
流れ動く多数の意見にまどわれず
とらわれぬ子どもの魂で
いまあるものを組み直しつくりかえる
それこそがおとなの始まり
永遠に終わらないおとなへの出発点
人間が人間になりつつけるための
苦しみと喜びの方法論だ

出典:「魂のいちばんおいしいところー谷川俊太郎詩集」サンリオ出版 1990

「成人の日」を迎えると、いつも思い出す谷川俊太郎さんの詩があります。おとなになったつもりの私も、人として、いくつになっても「人に成る努力」をし続けていきたいと改めて思うのです。

1/8 3学期始業式にて

始業式の中で、3学期にみんなで取り組むことについて子どもたちに話をしました。約50日という残り少ない登校日の中で、ひとりでもみんなとでも良いチャレンジをして自分を成長させていきたいものです。



3学期 始業式

令和8年1月8日(木)

1月→「い」く(行く)
2月→「に」げる(逃げる)
3月→「さ」る(去る)

あっという間に
時間が過ぎていく



卒業式
(4・5・6年生参加)

3/23

修了式
(1～5年生参加)

3/24

登校する日数は？

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1月	16	16	16	16	16	16
2月	18	18	18	18	18	18
3月	15	15	15	16	16	15
計	49	49	49	50	50	49

よいと思うことをやり続けたら

自分でも
気づかないうちに

変化・成長

する



0学期 始業式

令和8年1月8日(木)

3学期のめあて

自分から 進んで

□あいさつ □学ぶ

□自分に何ができるか
を考えて行動する

学年の残りの登校日数を確認しました。約50日。子どもたちからは「短い」という声が多かったです。

また3学期は、言わば「次の学年の0学期」でもあります。身に付けたい力がどこまでついたかを振り返り、次の学年になるための準備をしましょう。

キーワードは「自分から 進んで」です。良いチャレンジを積み重ねていきましょう！ と話しました。

今年はうま年です。良いと思うことをやり続けたら、きっとうまくいく年になることでしょう。誰かのために自分の行動や言葉が役に立ったという経験をどんどんさせていきたいと思います。ご協力をお願いします。